

# 産業文化祭「文化の部」の参加者募集

同好会やサークル活動など、生涯学習活動に取り組んでいる方々の学習成果の発表の場として、また、地域の皆さんの触れ合いと学習意欲の向上の場として、産業文化祭「文化の部」を開催します。

お気軽に、申し込みください。

▼期日 11月3日(土)～4日(日)  
▼会場 中央公民館・保健文化センター3階ホール  
▼内容 作品展示発表(華道、書道、陶芸など)、ステージ発表(ダンス、民謡、コーラスなど)  
▼申込方法 中央公民館・白里公民館・中部コミュニティセンターの窓口にて

▼申込期限 7月25日(水)必着  
▼その他  
・参加者は説明会出席・会場設営・連絡調整などに協力ください。  
・展示場所・出演時間など、ご希望に沿えないこともあります。

☎(70)0380

☎(70)0380



▲ステージ発表



▲作品展示発表

## 入札結果の公表

町が発注する建設工事、業務委託、物品購入等の入札結果のうち、主なもの(落札金額が工事500万円以上・業務委託300万円以上・物品購入等200万円以上)について公表します。

なお、そのほかの結果も含め、全入札結果は、入札情報サービス、役場受付行政情報コーナー、財政課で公表しています。

☎(70)0312

注:金額は税込表示

### 5月10日一般競争入札実施分

- 件名 白里海岸町営駐車場有料管理業務
- 場 所 大網白里町南今泉4881番1地先
- 落札業者 サンエス警備保障(株)
- 落札金額 7,234,500円

### 5月11日一般競争入札実施分

- 件名 町立白里小学校旧校舎改築工事(建築工事)
- 場 所 大網白里町南今泉3349番地
- 落札業者 新日本建設(株)
- 落札金額 338,100,000円
- 件名 町立白里小学校旧校舎改築工事(機械設備工事)
- 場 所 大網白里町南今泉3349番地
- 落札業者 庄司工業(株)
- 落札金額 62,895,000円

### 5月24日一般競争入札実施分

- 件名 町立大網中学校屋内運動場耐震構造改修設計業務
- 場 所 大網白里町金谷郷275番地
- 落札業者 (株)長谷川清次郎設計事務所
- 落札金額 7,980,000円
- 件名 排水整備工事に伴う測量設計業務
- 場 所 大網白里町南横川(北)外4地内
- 落札業者 (株)つくも
- 落札金額 4,798,500円
- 件名 道路改良工事に伴う測量設計業務
- 場 所 大網白里町北今泉(5区)外2地内
- 落札業者 (株)つくも
- 落札金額 4,179,000円
- 件名 緑地管理業務(建・3)
- 場 所 大網白里町みずほ台地内
- 落札業者 (有)関本園
- 落札金額 3,885,000円
- 件名 緑地管理業務(建・4)
- 場 所 大網白里町みどりが丘地内
- 落札業者 河崎造園土木(株)
- 落札金額 6,961,500円
- 件名 緑地管理業務(建・5)
- 場 所 大網白里町季美の森南地内
- 落札業者 (有)大原造園土木
- 落札金額 7,234,500円
- 件名 緑地管理業務(建・6)
- 場 所 大網白里町季美の森南地内
- 落札業者 (株)翔和緑花建設
- 落札金額 5,376,000円

## 中学生による 景観ワークショップを開催しました

町では、平成23年5月に景観行政団体となり、景観計画策定の取り組みを進めています。

景観形成には長い年月を要し、何世代にも渡る取り組みが必要なことから、町の未来を担う子どもたちの意見を反映するため、5月27日と6月3日に、町内3中学校の生徒たちによる景観ワークショップを開催しました。

生徒たちは、町の大きな白地図を見ながら、「よい風景」と「よくないと思う風景」をピックアップ。地図上に、それぞれ理由をつけて書き込んでいきました。

その後、「よい風景」と「よくないと思う風景」の上位3つを発表。「田園風景」、「海が見える風景」、「ホテルが見られる風景」などがよいものとして挙がる一方、「遊ぶところが少ない」や「道が狭く雑草の生えているところがある」などがよくないものとして挙がりました。

最後に生徒たちは「よいものは守り、よくないものは減らす努力をしていくことが大事」とまとめ、策定される景観計画への期待を込めました。

☎(70)0364



## 「山武郡市文化財センター 盛衰史(上)」

### 大規模開発と発掘調査

今から三十年前、高度成長期を経て、バブル期を迎えた昭和五十年代後半、日本は空前の開発ブームを迎え、各地で宅地開発やゴルフ場の造成などにより、遺跡の発掘調査が行われることとなりました。

大網白里町もこの例に漏れず、大網白里町と東金市の境、現在の季美の森の開発に先立つ調査で計十二カ所の遺跡が確認されました。これらの遺跡は山田台遺跡群と名付けられ、この遺跡群の調査を行うため、昭和五十七年六月に大網山田台遺跡調査会が組織されました。

当初は山田台遺跡群(季美の森)の調査を行うために発足した調査組織でしたが、みずほ台などの区画整理事業やゴルフ場開発など、その他の開発にかかわる調査の必要が生じたため、昭和五十九年七月、大網白里町と東金市内の発掘調査を行うための組織として、財団法人山武郡市南部地区文化財センターへと改編されました。

## 山武郡市文化財センターの設立

当初は大網白里町と東金市だけを調査範囲としていたのですが、開発の波は山

## 大網白里考古学エッセイ

シリーズ④

武郡全域へと及び、それに伴い、平成元年五月には成東町、山武町、松尾町、芝山町がそれぞれ加入、のちに横芝町も加入し、山武郡全域を調査範囲とする、財団法人山武郡市文化財センターが発足することになりました。

文化財センターは各地区内で、発掘調査の必要が生じたときのために考古学の専門家を集めて対応するための組織です。

一口に考古学と言っても、旧石器から縄文時代、弥生時代、古墳時代、さらには奈良・平安時代から中世など、さまざまな時代ごとに専門があり、一人だけで全ての時代の調査を行うことには無理があります。このため、文化財センターには、構成する各市町が一、二人の専門職員をそれぞれ派遣し、一つの調査体を構成しています。これにより、文化財センター(総体として、さまざまな時代の調査ができるようになるのです。

このような文化財センターは、成田空港や千葉ニュータウンなど、国や県の事業を担当する千葉県文化財センターのほか、各郡単位に県内に誕生し、県内各地で開発に伴う調査を行うようになり、バブル時代の最盛期には県内全域で三百名以上の専門職員が調査を行うようになりました。

生涯学習課生涯学習班